



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 97 号

R5.2.10

文責 中西 勉



美しい琴の音色に誘われて

今週 6 日（月）に、各学級の授業の様子を見て回っていると、音楽室から美しい琴の音色が聞こえてきました。その音色に誘われて音楽室に入ると、6 年 1 組の子供たちが琴の演奏に挑戦していました。琴は、普段はなかなか触れる機会のない楽器だけに、子供たちの学ぶ意欲の高さが伝わってきました。

今回、本校では、4～6 年生が、音楽の授業で琴の演奏を体験します。琴の演奏は、基本的には中学校で体験しますが、岡崎市現職研修委員会音楽部のご厚意で、琴を 10 張お借りすることができました。そして、本校が所有する 2 張と合わせて、12 張で「さくらさくら」の演奏に取り組んでいます。音楽が専門の校務補佐の成田教諭の手ほどきを受けながら、子供たちが目を輝かせながら楽しそうに糸（弦）を弾く姿は、大変清々しかったです。和楽器に触れながら、日本の伝統曲に親しむのは、とても貴重な経験ですね。



▲美しい琴の音色を味わいながら演奏する 6 年 1 組の子供たち



戻りつつある日常の学校生活

今週 7 日（火）に、今年度最終となる 4 回目の授業参観を行いました。保護者の皆様には、ご多用の中、学校へ足を運んでくださり、心より感謝申し上げます。前回までの 3 回の授業参観では、お子さん一人につき一名の参観者という制限を設けておりましたが、今回はその制限をなくし、さらに、保護者の方々が教室に入って参観していただくこともできました。



▲保護者に見守られながら授業を受ける 2 年 1 組の子供たち

また、昨日は、1 年生が学年全体で「幼保小交流会」を行いました。一昨年と昨年は、新型コロナの影響で開催を見送りましたが、今年度は、3 年ぶりに通常に近い形で交流会を開くことができました。1 年生の子供たちは、懐かしい幼稚園や保育園の先生に出会え、また、年長の子供たちと交流できて、とてもうれしそうでした。

このように、新型コロナへの理解と対応が進んだお陰で、以前のような日常の学校生活が戻ってきています。こうした状況が、さらに進んでいくことを願うばかりです。



▲「じゃんけん列車」によるふれあい交流